

第74回原子力委員会臨時会議議事録（案）

1. 日 時 1997年11月28日（金）10:30～11:20

2. 場 所 委員会会議室

3. 出席者 伊原委員長代理、田畑委員、藤家委員、依田委員
（事務局等）伊藤原子力調査室長
池本専門委員
森口動力炉開発課長
有本廃棄物政策課長
原子力局 奈良
原子力調査室 杉本、新井

4. 議 題

- （1）新法人作業部会の結果について
- （2）その他

5. 配布資料

- 資料1 第73回原子力委員会定例会議議事録（案）
- 資料2 新法人作業部会本会合の結果概要について
- 新法人作業部会本会合資料
 - （資料3-1）改革案の作成に当たっての基本的枠組み
 - （資料3-2）新法人の基本構想（案）
 - （資料3-3）参考資料

6. 審議事項

- （1）新法人作業部会の結果について

標記の件について事務局より、資料2及び新法人作業部会本会合資料3-2に基づき、会合結果の概要、新法人の基本構想等について報告があった。

これに対し、委員より

- ・安全管理と運転管理が重要な柱であることは当然であるが、新法人はそもそも研究開発機関であることを考慮し、全体のバランスがとれた適切な人員配置とすることが大切
- ・地域との関係が非常に重要であり、世界的な研究開発を行っていることを地元によく知らせていくなど、地元に対するPA活動をどのように行っていくかは大切な問題
- ・公開実験、地域との対話集会、可能な限りの施設開放など、対社会的な発信を大切にすべき
- ・研究開発と運転のいずれにおいても安全管理は密接で重要なものであり、安全管理に関して分けた議論をしすぎて二元的になることがないように注意すべき
- ・加速器による消滅処理やビーム利用など基礎的で大型の研究の移管などについては、これまでに各所で研究者が育っていることも踏まえ、人材が活躍できる環境をつくることが重要。また、このような交流を新法人と他の研究機関との接点として活用していくことが重要
- ・経営審議会を理事長の諮問機関とすることについては妥当と考える

等の意見があった。

- （2）議事録の確認

事務局作成の資料1第73回原子力委員会定例会議議事録（案）が了承された。

なお、事務局より、次回は12月1日（月）に臨時会議を11:00から開催する方向で調整したい旨発言があった。